

## 【目次】

1. 総同盟、川崎に第二友愛病院・第二青雲荘アパート建設から 80 年！
2. 洞爺丸遭難から 65 年、総同盟ゆかりの菊川忠雄と富吉榮二が死亡！
3. アジア連帯委員会 CSA 第 39 回定期総会が開かれる、9 月 27 日！
4. 渋沢史料館の井上館長をお招きし、11 月 6 日に講演会「渋沢栄一と鈴木文治」開催へ！

### 1. 総同盟、川崎に第二友愛病院・第二青雲荘アパート建設から 80 年！

今年には総同盟が川崎に第二友愛病院、第二青雲荘アパートを建設してから 80 年となります。



「医療の社会化」を目指していた総同盟は 1936（昭和 11）年、東京・芝の日本労働会館（旧ユニテリアン教会・唯一館）横に、友愛病院とアパート青雲荘（左写真。設計は山口文象）を建設しました。これは組合員や一般住民から多くの支持を得、経営的にも順調に推移していました。

このため東京製鋼㈱の製鋼労働組合川崎支部は、1938 年 5 月の総会で「友愛病院分院設置に関する件」を決議し、その大会決議を持って同支部代表が総同盟本部、財団法人日本労働会館に対して決議の実現を要請しました。



これを受け総同盟は 1939（昭和 14）年 3 月、東京製鋼の工場裏門隣接地に建設着手。同 9 月、木造二階建モルタル造りの建物を完成させました。1 階が友愛病院（11 月開院）、2 階がアパート青雲荘（10 月入居）という建物でした。

友愛病院は地元の人々から「製鋼病院」と呼ばれ、多くの人々が利用して地域医療に貢献しました。病院とアパートの経営は順調で、1942（昭和 17）年に病院を増築、拡張しています。しかし、戦局がその後熾烈となり、1945（昭和 20）年 4 月 14 日夜の川崎大空襲で焼失してしまいます。この時、東京製鋼の製鋼労働会館も焼失。戦後、第二友愛病院跡地は東京製鋼㈱に売却され、その役割を終えました。

### 2. 洞爺丸遭難から 65 年、総同盟ゆかりの菊川忠雄と富吉榮二が死亡！

9 月 9 日未明に千葉県を直撃した令和元年台風 15 号は、特に県南部に大きな被害をもたらし、現在でも一部地域は深刻な状況にあります。いままで“台風 15 号”は、日本に大きな被害をもたらしており、「9 月の台風 15 号は恐ろしい」と言われています。

1954 年 9 月 26 日の昭和 29 年台風 15 号は、「洞爺丸台風」と呼ばれ、死者 1361 名・行方不明者 400 名の被害をもたらしています。また、1959 年 9 月 26 日の昭和 34 年台風 15 号は、「伊勢湾台風」と呼ばれ、死者 4697 名・行方不明者 401 名・負傷者 38921 名の被害をだしています。

洞爺丸台風では函館湾で洞爺丸など 5 隻の青函連絡船が沈没し、日本最大の海難事故となりました。この教訓から後に青函トンネルが建設されることとなります。この洞爺丸海難事故では日本社会党（右派）の菊川忠雄（友愛会・総同盟系の労働運動家、衆議院議員）と、同・富吉榮二（農民運動家、衆議院議員、元逓信大臣）が死亡しています。



菊川忠雄（1901. 3. 1～1954. 9. 26）は1926（昭和元）年に東京帝国大学卒業後、総同盟に入り、労働運動に生きた活動家。戦後、右派社会党の政治家（衆議院議員3期）としても活躍し、北海道の遊説からの帰り、洞爺丸海難事故で亡くなっています。享年55歳。妻君子は洞爺丸事故遺族会の会長を務め、衆議院議員を1期務めています。



富吉榮二（1899. 7. 6～1954. 9. 26）は戦前、農民運動に取り組み、労働農民党の結成に参加。1927（昭和2）年の鹿児島県会議員選挙で初当選。1937年の総選挙で衆議院議員に初当選しています。戦後、日本社会党（右派）から衆議院議員に4回当選（通算6期）し、芦田連立内閣では逓信大臣を務めています。菊川忠雄とともに北海道遊説の帰り、洞爺丸海難事故で死亡しています。享年55歳。

### 3. アジア連帯委員会 CSA 第39回定期総会が開かれる、9月27日！

アジア連帯委員会 CSA（吉井眞之会長）は9月27日（金）午後、連合会館において第39回定期総会を開催しました。総会では議長に UA ゼンセンの浅山哲也代議員を選出した後、体調不良のため欠席した吉井眞之会長に代わり、山根木晴久副会長が代表挨拶。続いて逢見直人連合会長代行が来賓挨拶（写真左）。この後、鈴木隆事務局長が2018年度事業報告、同会計決算報告を行い、監査報告とともに承認されました。



協議事項では鈴木事務局長が2019年度事業計画と同予算案の提案、和田水穂常任理事が役員の一部改選、山根木副会長が顧問の委嘱を提案し、何れも満場一致で決定されました。役員一部改選は吉井眞之会長の辞任表明に基づくもので、新しい会長に澤田和男氏（基幹労連）が選出されました（写真右）。



### 4. 渋沢史料館の井上館長をお招きし、11月6日に講演会「渋沢栄一と鈴木文治」開催へ！



友愛労働歴史館は11月6日（水）14時～16時、渋沢史料館の井上潤館長をお招きし、「渋沢栄一と鈴木文治・友愛会」のテーマで講演会を開催します。

渋沢栄一（1840～1931）は、「実業家。第一国立銀行を経営、製紙・紡績・保険・運輸・鉄道など多くの企業設立に関与、財界の大御所として活躍」（広辞苑）しています。渋沢は実業界引退後（1916年・77歳）、「老後の三大事業」として「経済と道徳の一致」「資本と労働の調和」「細民救恤手段の統一」の活動に取り組みます。

その「資本と労働の調和」を具体化したのが、1919（大正8）年の協調会設立。当歴史館は現在、企画展「協調会結成100年—渋沢栄一と鈴木文治・友愛会—」（2019. 7. 4～12. 24）を開催中ですが、今回の講演会はその一環での開催。参加希望者は友愛労働歴史館までEメールで。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

Tel.050-3473-5325

Eメール [yuirodorekishikan@rodokaikan.org](mailto:yuirodorekishikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuirodorekishikan.com>

惟一館から125年、友愛会から107年